

冬季休業は、多くの行事の中で家族の一員として自分の役割を果たしたり、新たな気持ちで学習や部活動に取り組んだりするなど、子どもにとって大変有意義な時間になります。その一方で、休業後に登校できるのかを不安に思ったり、休業中に生活のリズムを崩したりするなどして心や体に不調を来し、冬季休業明けに学校や教室に行きづらくなったりする子どももいるのではないのでしょうか。

そこで、チェックシートを活用してみましょう！

不安を抱えながらも何とか登校できている子ども（下欄：子どもの状態評価 状態0～状態2）や、学校には登校できていないが、教育支援センター（学校適応指導教室）、フリースクールなど学校以外の施設には定期的に参加できている子ども（状態3）に焦点を当て、

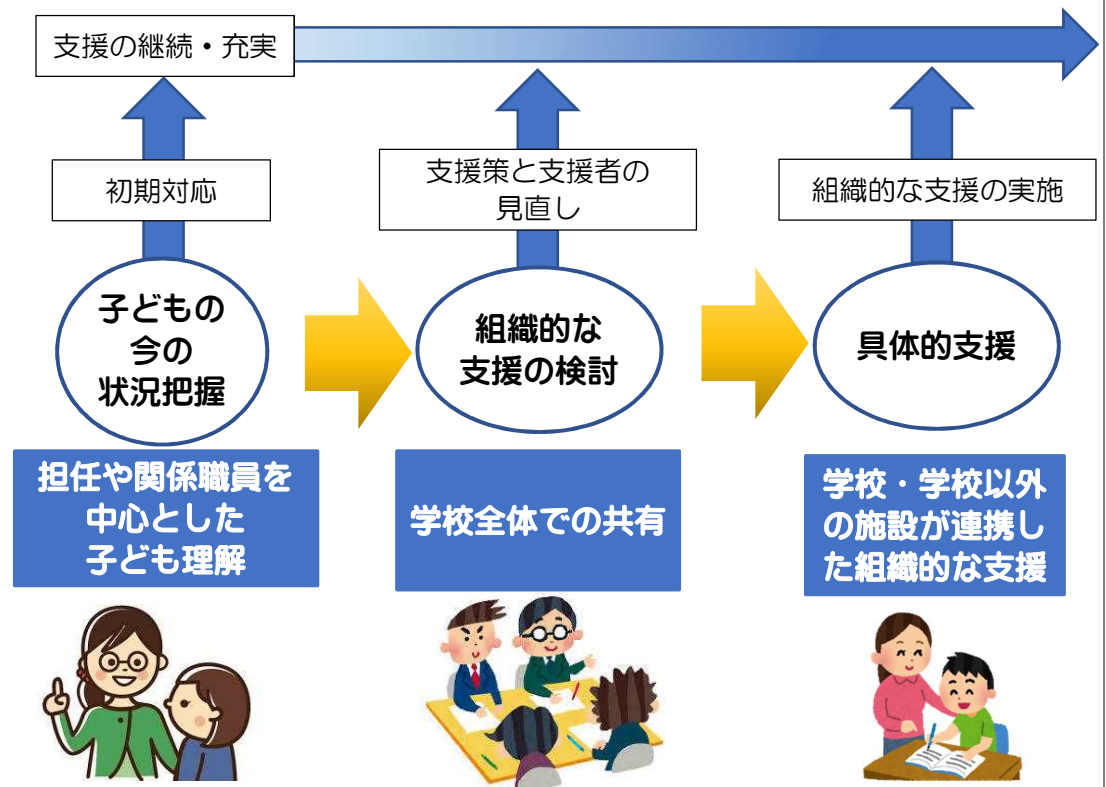
- ① 学級担任や学校関係職員が、子どもの今の状況を把握して、休業前（日々の取組）、休業中、休業後において、その子に合わせた支援を行うこと
- ② 気になる子どもに対して、学校職員がチームで支援策を検討し、学校以外の施設とも連携しながら、組織的に支援できるようにすること

を目的として作成しました。ぜひ御活用ください。なお、休業前に取り組む内容については、通常の教育活動においても取り組むべき内容です。

冬季休業前、休業中、休業後における、学校が子どもとその保護者にできる支援

子どもの状態評価

		登校状況
登校できている	状態0	平常に登校しているが、ときどき気になる行動が見られる
	状態1	遅刻・欠席がしばしばある 又は、保健室登校が多い
	状態2	半分以上の欠席がある 又は、保健室・相談室登校をしている
登校できていない	状態3	学校以外の施設への定期的な参加ができている
	状態4	家庭内では安定しているが、外出は難しい
	状態5	家族ともほとんど顔を合わせず、部屋に閉じこもっている



※ 状態0～5は、『小児心身医学会ガイドライン集』改訂第2版」を参考にしています

（ ）年（ ）組（ ）番 名前（ ）

記入日 、

	学級担任	学年職員等 (学年主任、副担任、教科担任、部活動顧問など)	関係職員 (教育相談担当、生徒指導担当、特別支援教育担当、 養護教諭、相談員、SC、SSWなど)	管理職
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">休業前</p>	<input type="checkbox"/> 意識的に言葉かけを行い、本人の表情や受け答えを観察する <input type="checkbox"/> 子どもの様子が普段と違うときは、関わる先生に相談する <input type="checkbox"/> 教育相談を行い、気になることを話した場合は、以下の対応を参考にする <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《子どもが気になることとその対応例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題（課題） … <input type="checkbox"/> 宿題（課題）の量や期限などを一緒に考えていく ・友達関係 … <input type="checkbox"/> 本人の思いを十分に聴き、休業中も見守っていくことを伝える ・進路（小6・中3） … <input type="checkbox"/> 本人の思いを十分に聴き、保護者とそのことを共有する </div> <input type="checkbox"/> 子どもの状況を把握し、必要に応じてチームで会議を行う <input type="checkbox"/> 本人と保護者に対する支援策と支援者について全職員で共通理解を図る		<input type="checkbox"/> 気になる子どもが保健室や相談室を利用した場合は、情報を共有する <input type="checkbox"/> 教育相談担当は、保護者に対して相談機関やカウンセリングを案内する <input type="checkbox"/> 教育相談部会や生徒指導部会等で、気になる子どもと保護者の状況の情報共有を図る	<input type="checkbox"/> 支援の役割がうまく機能しているかを確認する <input type="checkbox"/> 学級担任や関係職員に過度な負担がないかを確認する
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">休業中</p>	<input type="checkbox"/> 電話連絡や家庭訪問を行い、子どもと話す機会を設ける <input type="checkbox"/> 子どもと話せない場合は、保護者に様子を尋ねる <input type="checkbox"/> 共通理解を図った内容に沿って、連携して支援を行う <input type="checkbox"/> 冬季休業明け直前に、家庭訪問又は家庭への連絡を行い、新学期の良好なスタートにつながるサポートを行う		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">休業後</p>		<p>【登校できた場合】</p> <input type="checkbox"/> 子どもを励ます言葉かけを行う <input type="checkbox"/> 学校での様子を保護者に伝える <p>【初日に欠席した場合】</p> <input type="checkbox"/> 電話連絡を行う <input type="checkbox"/> 家庭での様子で気になることがある場合は、家庭訪問を行う <p>【欠席が2日以上続く場合】</p> <input type="checkbox"/> 子どもに対する支援策を組織的に検討する <input type="checkbox"/> 同じ学年の職員・学年主任→教育相談担当、生徒指導担当→管理職に相談する <input type="checkbox"/> ケース会議（SC、SSW、養護教諭などを含む）を開く		<input type="checkbox"/> 子どもの登校状況や学校での様子を把握する <input type="checkbox"/> 担任と情報共有を行う <input type="checkbox"/> 校内の協力体制をつくり、職員をチームとしてつなぐ <input type="checkbox"/> 支援を迅速に提案する <input type="checkbox"/> 必要に応じて、関係機関との連携について提案する

関係づくりのポイント



- ・教育支援センターなどと、今の子どもの様子や今後の支援等について情報共有を行い、それぞれができる支援や役割等を確認しながら協力して支援を進めましょう。
- ・教育支援センターなどで子どもに会えたときは、興味があることについて話をしたり一緒に活動をしたりするなど、子どもが安心感を得られるような雰囲気づくりを心がけましょう。保護者と接するときも、「一緒に考えていきましょう」という共感的な姿勢で関わりましょう。

() 年 () 組 () 番 名前 () 記入日

	学級担任	学年職員等 (学年主任、副担任、教科担任、部活動顧問など)	関係職員 (教育相談担当、生徒指導担当、特別支援教育担当 養護教諭、相談員、SC、SSWなど)	管理職
休業前	<input type="checkbox"/> 家庭訪問を行い、休業中の過ごし方や今後の方針について、保護者と共通理解を図る			<input type="checkbox"/> 支援の役割がうまく機能しているかを確認する <input type="checkbox"/> 学級担任や関係職員に過度な負担がないかを確認する
	【学校以外の施設との連携】 <input type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもが参加している施設に出向くなどして、施設での子どもの様子を確認する <input type="checkbox"/> 休業中の取組について確認し、休業後の支援や今後の方針について相談する			
	【ケース会議の開催】・子どもの今の状況について情報共有する ・本人と保護者に対する支援策と支援者の決定をする			
休業中	<input type="checkbox"/> 電話連絡や家庭訪問を行い、子どもと話す機会を設ける		<input type="checkbox"/> 学級担任や学年職員等と情報共有する	
	<input type="checkbox"/> 学級担任が子どもや保護者と話せない場合は、必要に応じて電話連絡や家庭訪問を行う			
休業後	【学校以外の施設との連携】 <input type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもが参加している施設に出向くなどして、施設での子どもの様子を確認する <input type="checkbox"/> 進学・進級に向けた今後の支援について確認する			<input type="checkbox"/> 支援の進捗状況及び今後の支援について確認する